

株主の皆さまへ

第44期報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで



## 株主の皆さまへ

### ■ご挨拶

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第44期報告書（2021年4月1日から2022年3月31日まで）をお届けし、事業の概況等についてご報告申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、先進国を中心にワクチン接種による行動制限の緩和などにより、持ち直しの傾向が見られたものの、変異株の感染拡大による新型コロナウイルス感染症の影響や世界的な資源や部材の供給不足による価格高騰、ロシア・ウクライナ情勢による世界経済への影響など、先行き不透明な状況が続きました。

半導体業界につきましては、高速通信規格（5G）関連製品やPC、データセンター、車載、家電など幅広い分野で、半導体の旺盛な需要が続きました。当社の属する半導体製造装置業界につきましても、世界的な半導体不足解消に向けた生産能力増強や、中国における半導体内製化に向けた積極的な投資、経済安全保障観点からの半導体のサプライチェーン見直しに向けた投資などにより、力強い市場環境が続きました。

このような状況のもと、当社グループは拡大を続ける中国市場における事業活動をさらに強化するため、当社初の海外開発拠点である東和半導体設備研究開発（蘇州）有限公司を設立し、設計・開発から生産、販売、アフターサービスまでを中国国内のみで完結できる体制を整えました。また、シンギュレーション装置の消耗部品であるブレードを製造・販売するFine International Co., Ltd.（2022年3月30日付でTOWAファイン株式会社に社名変更）の株式取得による子会社化や、切削工具や受託加工ビジネスの拡大に向けた生産能力増強のために、京都東事業所新棟を竣工するなど、主力のモールドング装置以外での収益機会の拡大に向けた取組みも行いました。業績につきましては、事業規模拡大を見据えた積極的な設備投資を行っていたことが奏功し、急激な需要の増加に対応できたことから、通期の受注高、売上高、各段階利益全てにおいて、過去最高となり、TOWA10年ビジョン（2014年4月～2024年3月）および第3次中期経営計画（2020年4月～2024年3月）の目標数値である売上高500億円、営業利益80億円（同率16%）を2年前倒して達成いたしました。

今後とも、株主の皆さまのご期待にお応えいたすべく、グループ一丸となって邁進していく所存でございますので、何卒一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月



代表取締役社長 **岡田博和**

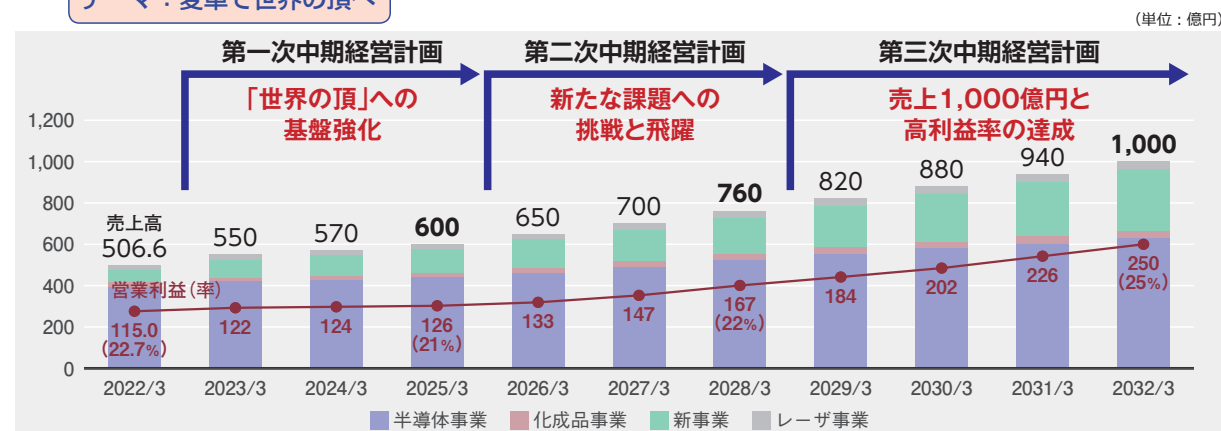
## 第44期の概況と今後の計画

左頁で述べました取組みの結果、当連結会計年度の経営成績は売上高506億66百万円（前連結会計年度比209億59百万円、70.6%増）、営業利益115億5百万円（前連結会計年度比78億86百万円増、3.2倍）、経常利益117億24百万円（前連結会計年度比79億5百万円増、3.1倍）、親会社株主に帰属する当期純利益81億29百万円（前連結会計年度比54億66百万円増、3.1倍）となりました。

なお、2014年3月に掲げた長期経営ビジョンの業績目標を、2年前倒して達成できたことから、新たな目標として、長期ビジョン「TOWAビジョン2032」と第一次中期（3ヵ年）経営計画を策定いたしました。

### TOWAビジョン2032の概要

テーマ：変革で世界の頂へ



### 第一次中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）の概要

テーマ：TOWAが創り出すプロセスイノベーション

			2023年3月期			2024年3月期			2025年3月期		
売	上	高	550	570	600						
		半導体事業	420	425	440						
		化成品事業	19	20	22						
		新事業	86	100	112						
	レ	ザ	事業	25	25	26					
営業利益			122	124	126						
営業利益率			22.2%	21.8%	21.0%						
経常利益			122	124	126						
当期純利益			85	87	88						

※ 当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益

## 生産力強化 京都東事業所新棟の完成

2021年7月から増築工事を進めておりました京都東事業所新棟(新工場)が2022年3月に完成しました。

近年、切削工具や受託加工ビジネスの需要が拡大し、既存スペースでは手狭になってきたため、新棟を建設し、生産能力を増強することとしました。新棟の完成により、既存スペースを含めた延床面積は約1.4倍になります。

また、既存棟から新棟へ設備を移設した後にできる空きスペースを、半導体樹脂封止用金型工場のスマートファクトリー化などに活用し、さらなる生産性向上や品質強化に取り組めます。



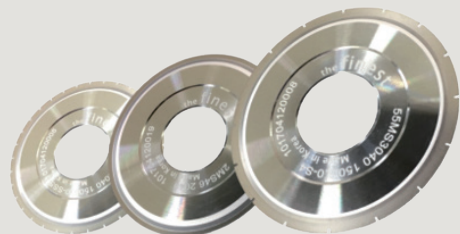
## 事業の拡大 Fine International Co., Ltd.の連結子会社化

当社は、大韓民国法人Fine International Co., Ltd.(以下、「Fine International」といいます。)の株式を2022年1月26日に取得し、連結子会社化しました。

Fine Internationalは、電子産業分野に必要な切断技術をベースにブレードの製造・販売を行っており、高速回転刃を用いた技術で、電子部品の軽薄短小化や精密な部品加工を実現する会社です。

Fine Internationalを連結子会社化することにより、同社が有する切断技術と当社のシンギュレーション技術を融合させ、新製品の開発、ブレード販売等のTSS(トータル・ソリューション・サービス)事業の収益拡大を図るとともに、技術者の相互交流、販売・サービス網の相互活用、生産における購入品の調達などによるシナジーの発揮と、企業価値の向上を目指してまいります。

※2022年3月30日付にて、Fine Internationalの社名を「Fine International Co., Ltd.」から「TOWAファイン株式会社」に変更しました。



TOWAファイン株式会社製ブレード

## SDGsに関する取組み

### 気候変動対策

#### ～カーボンニュートラルに向けた目標策定～

気候変動の原因とされる温室効果ガスの排出量削減を重要な課題と捉え、CO<sub>2</sub>排出量削減目標を策定し、グループ全体でカーボンニュートラルを目指して取り組んでまいります。

#### CO<sub>2</sub>排出量削減目標

- ◆ 2030年度において自社(Scope1+2)のCO<sub>2</sub>排出量を2020年度比42%削減します。
- ◆ 2050年までに実質ゼロ(カーボンニュートラル)を目指します。

Scope1: 自社による温室効果ガスの直接排出

Scope2: 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出



13 気候変動に具体的な対策を



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

### 再生可能エネルギーの導入拡大 ～CO<sub>2</sub>排出量削減の実績～

#### 海外拠点でも太陽光パネルの設置を推進

当社は、2021年7月から国内の主要事業所で使用する電力を全て再生可能エネルギーに切り替えるとともに、京都東事業所に続き、中国蘇州およびマレーシアにある工場でも太陽光パネルの設置を決定し、完成しました。

これにより、蘇州工場では年間約1,020トン、マレーシア工場では年間約1,330トンの二酸化炭素を削減できる見込みです。いずれも工場の年間約30%の排出量削減となります。



TOWA半導体設備(蘇州)有限公司 蘇州工場

#### 本社・工場に電気自動車導入

本社・工場に社用車として電気自動車1台を導入しました。本社・工場において、電力を再生可能エネルギーに転換していることから、社内で充電を行った場合、走行時のCO<sub>2</sub>排出はゼロとなり、CO<sub>2</sub>排出量として年間最大1,450kg/台\*の削減につながります。

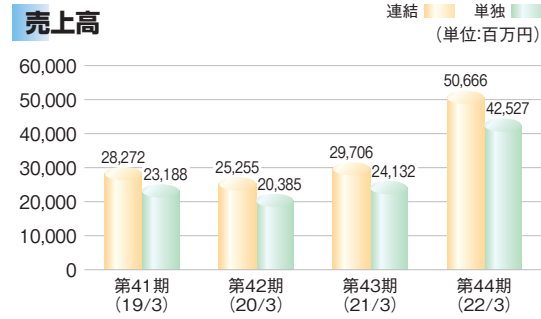
※2020年度の当社社用車の運用実績データをもとに算出した削減量です。



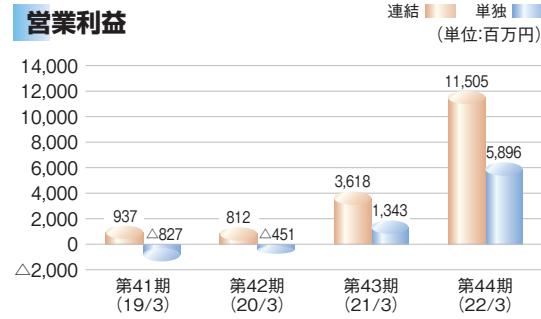
本社・工場に導入した電気自動車

# 業績の推移

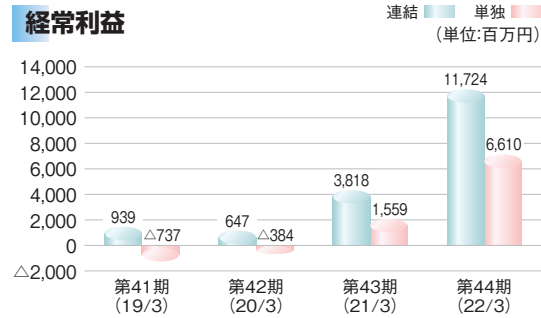
## 売上高



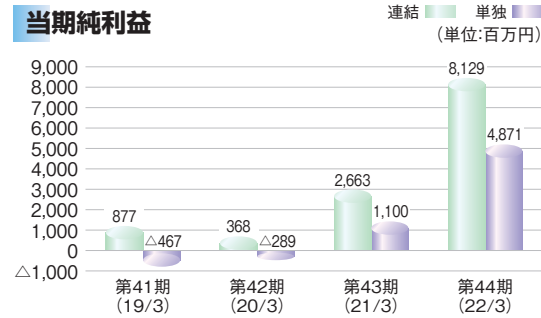
## 営業利益



## 経常利益

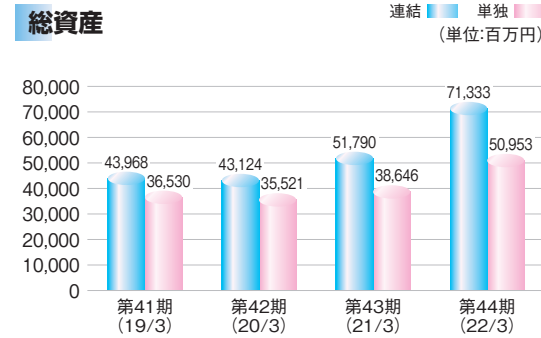


## 当期純利益

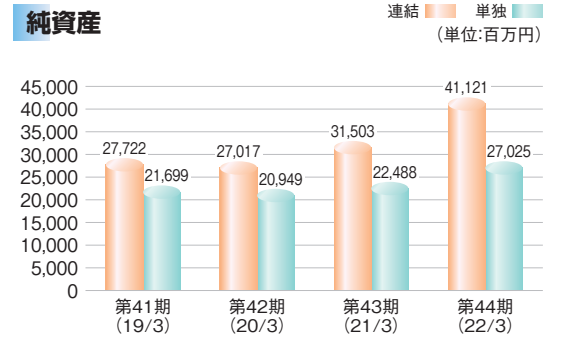


(注)連結については、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しております。

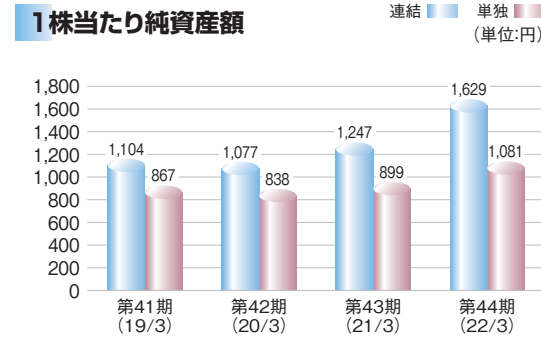
## 総資産



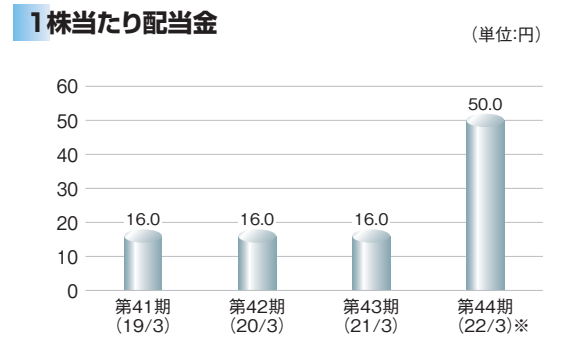
## 純資産



## 1株当たり純資産額



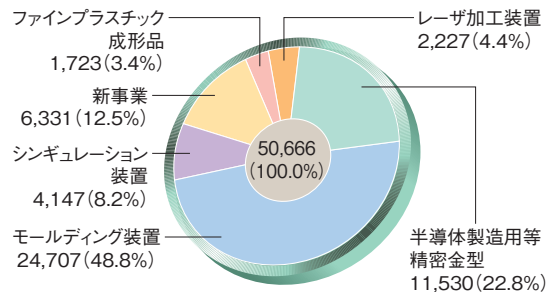
## 1株当たり配当金



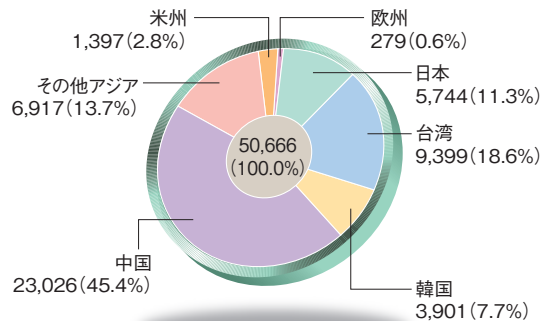
※第44期(22/3)配当金の内訳 普通配当40円 記念配当10円

## [セグメント別連結売上高(第44期)]

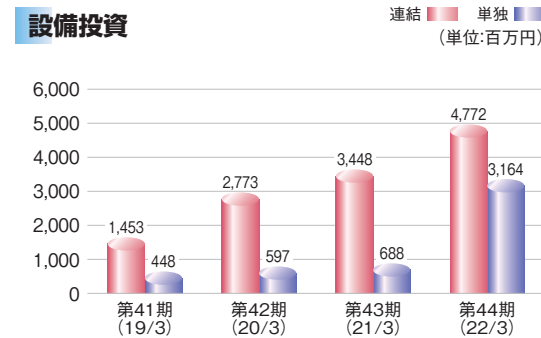
### 製品別 (単位:百万円)



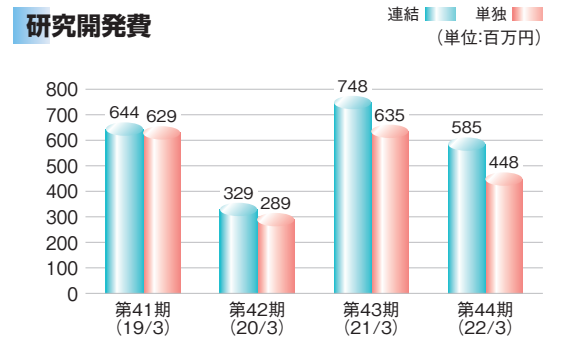
### 地域別 (単位:百万円)



## 設備投資



## 研究開発費



# 決算概要

連結貸借対照表 (2022年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額
<b>【資産の部】</b>	
<b>流動資産</b>	44,219
現金および預金	12,407
受取手形および売掛金	11,543
電子記録債権	287
たな卸資産	18,572
その他	1,408
<b>固定資産</b>	27,113
<b>有形固定資産</b>	21,026
建物および構築物	8,786
土地	5,189
その他	7,051
<b>無形固定資産</b>	1,306
投資その他の資産	4,779
<b>資産合計</b>	71,333

(注) 当期の連結子会社は17社であります。

連結損益計算書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
売上高	50,666
売上原価	32,013
売上総利益	18,653
販売費および一般管理費	7,148
営業利益	11,505
営業外収益	325
営業外費用	106
経常利益	11,724
特別利益	45
特別損失	74
税金等調整前当期純利益	11,695
法人税・住民税および事業税	3,167
法人税等調整額	376
当期純利益	8,151
非支配株主に帰属する当期純利益	21
親会社株主に帰属する当期純利益	8,129

科目	金額
<b>【負債および純資産の部】</b>	
<b>流動負債</b>	25,525
支払手形および買掛金	5,110
電子記録債務	2,888
短期借入金	5,300
一年以内返済予定長期借入金	1,340
前受金	4,725
その他	6,162
<b>固定負債</b>	4,685
長期借入金	3,270
その他	1,415
<b>負債合計</b>	30,211
<b>株主資本</b>	36,202
資本金	8,932
資本剰余金	462
利益剰余金	26,820
自己株式	△ 12
その他の包括利益累計額	4,526
その他の有価証券評価差額金	2,261
為替換算調整勘定	2,169
退職給付に係る調整累計額	94
非支配株主持分	392
<b>純資産合計</b>	41,121
<b>負債・純資産合計</b>	71,333

連結キャッシュ・フロー計算書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,403
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,925
現金および現金同等物の期末残高	12,250

連結株主資本等変動計算書 (2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2021年4月1日 期首残高	8,932	462	19,090	△ 11	28,473
<b>連結会計年度中の変動額</b>					
剰余金の配当			△ 400		△ 400
親会社株主に帰属する当期純利益			8,129		8,129
自己株式の取得				△ 1	△ 1
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
<b>連結会計年度中の変動額合計</b>	—	—	7,729	△ 1	7,728
2022年3月31日 期末残高	8,932	462	26,820	△ 12	36,202

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他の有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
2021年4月1日 期首残高	2,195	411	100	2,707	322	31,503
<b>連結会計年度中の変動額</b>						
剰余金の配当						△ 400
親会社株主に帰属する当期純利益						8,129
自己株式の取得						△ 1
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	66	1,758	△ 5	1,818	70	1,888
<b>連結会計年度中の変動額合計</b>	66	1,758	△ 5	1,818	70	9,617
2022年3月31日 期末残高	2,261	2,169	94	4,526	392	41,121

## 会社の概要

商号	TOWA株式会社 (英文名TOWA CORPORATION)		
設立	1979年4月17日		
資本金	8,932,627,777円		
本社所在地	京都市南区上烏羽上調子町5番地 ☎(075) 692-0250(代表)		
従業員数	573名(単体)	1,817名	(連結)
役員	代表取締役社長	岡田博和	
(2022年6月29日現在)	取締役常務執行役員	石田耕一	
	取締役上席執行役員	柴原信隆	
	取締役執行役員	西村一洋	
	取締役執行役員	三浦宗男	
	取締役常勤監査等委員	浦生喜代重	代
	社外取締役監査等委員	和氣大輔	穂
	社外取締役監査等委員	後藤美穂	子
	社外取締役監査等委員	田中素子	昇
	上席執行役員	早坂舜	倫
	上席執行役員	鈕相倫	典
	執行役員	笹田秀典	
	執行役員	中西和彦	
ホームページ	<a href="https://www.towajapan.co.jp">https://www.towajapan.co.jp</a>		
上場取引所	東京証券取引所プライム市場		

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年		
定時株主総会	毎年6月		
基準日	株主総会権利行使および期末配当	3月31日	中間配当
			9月30日
単元株式数	100株		
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部		
郵便物の郵送先および 電話お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社証券代行部 ☎0120-288-324(フリーダイヤル)		
未払い配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店		
公告方法	電子公告の方法により行います。但し、 やむを得ない事由により電子公告を することができない場合は、日本経済新 聞に掲載します。 公告掲載URL <a href="https://www.towajapan.co.jp">https://www.towajapan.co.jp</a>		

## 株式の状況 (2022年3月31日現在)

●発行可能株式総数	80,000,000株
●発行済株式の総数	25,021,832株
●株主数	19,099名
●大株主	

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,816 <sup>千株</sup>	11.26 <sup>%</sup>
株式会社日本カストディ銀行	2,606	10.42
株式会社ケイビー恒産	2,000	8.00
蒲生徳子	1,028	4.11
株式会社京都銀行	699	2.80
株式会社エヌレガロ	600	2.40
TOWA社員持株会	367	1.47
京都中央信用金庫	300	1.20
JP MORGAN CHASE BANK 385781	299	1.20
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	263	1.05

(注1) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社および株式会社日本カストディ銀行の持株数は信託業務に係るものです。

(注2) 持株比率は、自己株式(13,221株)を控除して計算しております。

## TOWAグループ (2022年3月31日現在)

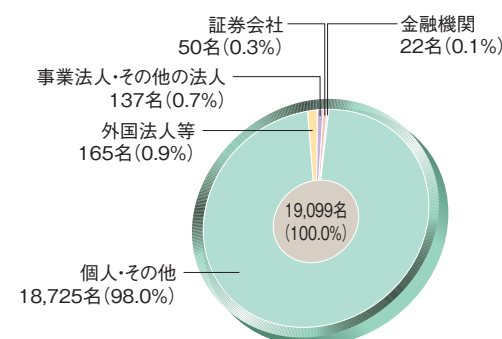
### 国内

TOWA株式会社  
本社・工場  
京都東事業所  
九州事業所  
株式会社バンディック  
TOWATEC株式会社  
TOWAレーザーフロント株式会社

### 海外

TOWA Asia - Pacific Pte. Ltd. (シンガポール)  
TOWAM Sdn. Bhd. (マレーシア)  
TOWA Semiconductor Equipment  
Philippines Corp. (フィリピン)  
TOWA THAI COMPANY LIMITED (タイ)  
TOWA USA Corporation (米国)  
TOWA Europe B.V. (オランダ)  
TOWA Europe GmbH (ドイツ)  
TOWA半導体設備(蘇州)有限公司(中国)  
東和半導体設備(上海)有限公司(中国)  
東和半導体設備(南通)有限公司(中国)  
東和半導体設備研究開発(蘇州)有限公司(中国)  
台湾東和半導体設備股份有限公司(台湾)  
TOWA韓国株式会社(韓国)  
TOWAファイン株式会社(韓国)

### 所有者別株主数分布



### 所有者別株式数分布

